



第七卷第七號

香々

綠 蔭

ウイリアム、リスル、パウルス作

孤 蓬 譯

うまし時、夏の日の

くすし羽音に黄蜂とび

清らま清水咽きて

開に鳴き行く時鳥

みとり溢る、青葉蔭

むつめる友と袖つらね

そゝろ森かげさすらひて

鳩のさゝめき聞くも樂しや

冬かれの淋しき日

憂になやみ

友にはかられ

雨やみぞれや

窓うつ時も

みとり森蔭さまよひし
友を思ふて歌へは樂し